



なかまる



令和7年12月12日
学校便り No.9
なかフェス特集号

「なかめるフェスティバル 大成功」

<実行委員長のお話>

11月19日(水)、なかめるフェスティバルが盛大に開催されました。

インフルエンザの流行により、全校児童が集まってなかめるフェスティバルが開催できず2部構成にしたこと、3年生が、学級閉鎖により、別日の開催になってしまったこと、2部構成にすることで、リコーダー部の発表ができなかったことなど、予定通りの開催にならなかったことは残念に思いましたが、どの学年の発表も一生懸命練習した成果を発揮できた素晴らしい発表でした。保護者の皆様には、感染防止対策のため、急な予定変更で、ご迷惑をおかけしたと思いますが、多くの保護者の皆様に参観していただき、たくさんの拍手で応援していただいたことは、子どもたちの励みになりました。ありがとうございました。



なかめるフェスティバル ハイライト

1年生

音読劇

「くじらぐも」



2年生



歌「あのね、
どうぶつえん」
合奏「子ぎつね」



3年生



合奏「とどけよう
このゆめを」
合奏「ゆかいな木
きん」
歌「にじ」
学習発表
「東海村のいいと
ころ」

4年生

手話と歌
「ビリーブ」



5年生

手拍子アンサンブル
「クラッピング
ファンタジー」
合奏「アフリカン
シンフォニー」



6年生



合奏
「ケセラセラ」
合唱
「変わらないもの」

セレモニーのようす

なかフェス実行委員や係の児童の活躍
～すばらしい掲示物で、会場の雰囲気を盛り上げてくれました～





なかめるフェスティバルのかんそう（1年生）

はじめての「なかめるフェスティバル」は、たのしむことができましたか。

1年生のみなさんは、国語の時間に学習した「くじらぐも」のおんどくをおぼえて、大きなこえで、しっかりとできました。げきもたのしくできましたね。

とくに「てんまでとどけ1、2、3」のかけごえが、とってもよかったです。

たいいくかんのギャラリーにはってある「くじらぐも」のけいじぶつがとってもすてきです。みんなのにおえがかわいいですね。

うたは、大きくちをあけて、きれいにうたうことができました。

とってもすばらしかったです。1年生のみなさんのしんけんなすがたに、かんどうしました。

なかめるフェスティバルのかんそう（2年生）

えんそくで、動物えんにいって、たのしかったようすがつたわってきました。

動物のげきが、とてもかわいかかったです。

「子ぎつね」のがっそうは、みんなのいきがぴったり合っていました。

だがつきのパートが、リズムを合わせるために、おたがいに目をあわせながら、リズムをとっていたのが、とてもよかったです。

けんばんハーモニカが、とてもじょうずにひけていました。たくさんれんしゅうしたせいかがあらわれていました。

なかめるフェスティバルのかんそう（3年生）

インフルエンザのかんせんが広がってしまったため、後日の発表になってしまったのが、ざんねんです。

後日、1年生と5年生が見ている中、りっぱに発表をすることができました。

歌は、みんなの声が、ぴったりと合っていて、大きな声で歌うことができました。また、手話（しゅわ）をまじえた、「にじ」は、がんばって手話をおぼえることができていて、感動しました。

そうこうてきな学習の時間に学んだ「東海村のいいところ」の発表では、東海村についてしっかりと調べていることがわかりました。



「ゆかいな木きん」では、今年からはじめたソプラノリコーダーがじょうずにふけていました。すばらしいはっぴょうでした。

なかめるフェスティバルの感想（4年生）

たん生してちょうど10年をむかえた4年生。

これからの自分の生き方や夢について考えたことを発表しました。しっかりと、自分の進路について考えている姿は、大変りっぱです。

総合的な学習の時間に学んだ手話を使いながら歌った「ビリーブ」は、とても心にひびき、きいていて、なみだが出そうになりました。“I believe future” 未来を信じて、これからも大きく羽ばたいてほしいです。

手形もほごしゃにとっては、すばらしい宝物になったと思います。20歳をむかえたときの手の大きさと比べてほしいです。きっと10年間の成長を感じることでしょう。

なかめるフェスティバルの感想（5年生）

手拍子アンサンブルは、全員のリズムがぴったりと合っていて、見ていて1年生も圧倒され、感動していました。とても素晴らしい演奏で、まさに、5年生の“パワー”を感じました。

合奏「アフリカンシンフォニー」は、難しい曲にチャレンジしました。アフリカの荒野を思わせる演奏で、軽快なリズムがとても印象的でした。リコーダーの演奏もしっかりできていた、ひごろの学習をがんばっているようですが、うかがえました。レベルの高い演奏で、どこかの演奏会に出したいぐらいのパワー全開、迫力ある演奏でした。

これから、中丸小学校をリードしていく、頼もしさを感じました。

今後の活躍を大いに期待しています。



なかめるフェスティバルの感想（6年生）

さすが6年生。

合奏「ケセラセラ」は、レベルの高い難しい曲ですが、たくさんの種類の楽器を使って、心をこめて演奏することができました。みんなの心が1つになった演奏で、思わず、歌いたくなってしまいました。

合唱「変わらないもの」は、6年生のみなさん的心の中にある「変わらないもの」が聴く人に伝わってくるような温かい歌声でした。みんなにとっての「変わらないもの」が、“友情”であってほしいと、心から願っています。

涙がこぼれそうになりました。素晴らしい歌をありがとう。